貸 借 対 照 表 (2019年9月30日 現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金 額
(資産の部)		(負 債 の 部)	
流動資産	925, 506, 447	流 動 負 債	599, 507, 339
現金及び預金	579, 958, 686	買掛金	99, 206, 935
売 掛 金	283, 306, 436	一年内返済長期借入金	277, 661, 000
受 取 手 形	13, 662, 636	一年内償還社債	40, 000, 000
商品	1, 040, 370	未 払 金	22, 670, 910
仕 掛 品	33, 572, 185	未 払 費 用	87, 985, 141
前 払 費 用	7, 254, 354	前 受 金	22, 981, 003
未収還付法人税等	6, 226, 100	預り金	6, 903, 150
そ の 他	485, 680	そ の 他	42, 099, 200
固 定 資 産	381, 425, 286	固 定 負 債	377, 506, 625
有 形 固 定 資 産	5, 500, 480	長 期 借 入 金	257, 067, 000
建物	3, 406, 721	社 債	40, 000, 000
工具、器具及び備品	2, 093, 759	長 期 未 払 金	72, 400, 000
無形固定資産	330, 200	繰 延 税 金 負 債	1, 462, 113
ソフトウェア	184, 600	資 産 除 去 債 務	6, 577, 512
そ の 他	145, 600	負 債 合 計	977, 013, 964
投資その他の資産	375, 594, 606	(純資産の部)	
投 資 有 価 証 券	29, 682, 000	株 主 資 本	330, 199, 708
関係会社株式	293, 000, 455	資 本 金	35, 000, 000
繰 延 税 金 資 産	9, 301, 795	資 本 剰 余 金	25, 923, 255
破産更生債権等	9, 399, 500	資本準備金	25, 923, 255
その他	43, 610, 356	利益剰余金	269, 276, 453
貸 倒 引 当 金	△ 9, 399, 500	その他利益剰余金	269, 276, 453
		繰越利益剰余金	269, 276, 453
		評価・換算差額等	△ 281,939
		その他有価証券評価差額金	△ 281,939
		純 資 産 合 計	329, 917, 769
資 産 合 計	1, 306, 931, 733	負債・純資産合計	1, 306, 931, 733

損 益 計 算 書 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:円)

		科		目		金	額
売			上		高		2, 416, 829, 376
売		上		原	価		2, 113, 338, 332
	売	上	総	利	益		303, 491, 044
販	売	費及	Ω. —	般管	理 費		237, 711, 652
	営	3	業	利	益		65, 779, 392
営		業	外	収	益		
	受	I	取	利	息	267, 925	
	受	取	酉己	当	金	30, 000	
	保	険 角	解 約	返	戻 金	7, 694, 640	
	そ		Ø		他	619, 559	8, 612, 124
営		業	外	費	用		
	支	扌	丛	利	息	4, 930, 645	
	そ		Ø		他	95, 943	5, 026, 588
	経	1	常	利	益		69, 364, 928
特		別		損	失		
	固	定	資 産	除	却 損	193, 751	193, 751
	税	引前	当	期 純	利 益		69, 171, 177
	法	人税、	住民移	色及び	事業税	25, 500, 726	
	法	人	锐 等	調	整額	18, 322, 060	43, 822, 786
	当	期	純	利	益		25, 348, 391

個別注記表

自 2018年 10月 1日 至 2019年 9月30日

- 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ① その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額金は全部 純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法によ り算定)

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・仕掛品

個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法 により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法(ただし、2016年4月1日以後取得の建物付属設備及び構

築物は

定額法)によっております。

なお、主な減価償却資産の耐用年数は次のとおりであります。

建物付属設備 ······10年~15年 工具器具及び備品······4~10年

無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における見込利 用可能期間(最長5年)で均等に償却をおこなっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事

業年度に負担すべき額を計上しております。

(4)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の 株式数	当事業年度増加 株式数	当事業年度減少 株式数	当事業年度末の 株式数
普通株式	700株	_	_	700株